


**ベルコート水和剤**

(BELLKUTE WP)

登録番号 第18821号

種類名 イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤  
iminocadine tris (albesilate)

性状 類白色水和性粉末 45 μm以下

有効年限 5年

有効成分 イミノクタジンアルベシル酸塩 40.0%

PRTR 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (PRTR・1種) 40.0%  
ドデシル硫酸ナトリウム (PRTR・1種) 3.0%

毒性 普通物 (毒劇物に該当しないものを指す通称)

包装 (100g×25袋) × 4箱、500g×20袋

## ■特長

- 幅広い抗菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果があります。
- 作物に対する安全性が高く、登録作物の多い使いやすい薬剤です。
- 細胞膜に作用し、膜機能や脂質合成を阻害します。また、他剤と作用点が異なるため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。

## ■適用病害名及び使用方法

(2018年10月10日現在)

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	本剤の 使用回数	イミノクタジン を含む農薬の 総使用回数	使用方法
りんご	黒星病	2,000	200～ 700	収穫前日 まで	6回以内 ただし、 開花期以降 散布は 3回以内	8回以内 液剤および水和剤 は合計6回以内 (開花期以降 は3回以内)、 塗布剤は2回以内	散布
	斑点落葉病	1,000～ 2,000					
	輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 黒点病	1,000					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1,000～ 1,500		収穫14日前 まで	5回以内	5回以内 塗布剤は2回以内 液剤は1回以内	
	もも	黒星病		2,000	収穫前日 まで	3回以内	
灰星病 うどんこ病 ホモプシス腐敗病 すすかび病 果実赤点病		1,000～ 2,000					
おうとう		灰星病		1,000			
みかん	灰色かび病	1,000～ 2,000		収穫前日 まで	2回以内	2回以内	
	そうか病	1,000					
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病	2,000					
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 すす点病 黒星病	1,000～ 1,500	収穫14日前 まで	3回以内	3回以内		
	キウイフルーツ	果実軟腐病 灰色かび病 貯蔵病害 (灰色かび病)	1,000	収穫前日 まで	5回以内	5回以内	

殺菌剤 ベルコート水和剤

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
マンゴー	炭疽病	1,000		収穫75日前まで	2回以内	2回以内	散布
あけび(果実)	うどんこ病	3,000		収穫14日前まで			
小粒核果類(うめ、すももを除く)	黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病	2,000	200～700	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	
うめ	すす斑病 枝枯病						
すもも	灰星病	1,000～2,000		収穫3日前まで			
びわ	灰斑病 灰色かび病	1,000		収穫7日前まで			
キャベツ	菌核病			収穫28日前まで			
すいか	菌核病 炭疽病	1,000		収穫前日まで	4回以内	4回以内	
	うどんこ病 つる枯病				5回以内	5回以内	
メロン	つる枯病						
かぼちゃ	うどんこ病	1,000～2,000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	
ズッキーニ		2,000		収穫前日まで	7回以内	7回以内	
きゅうり	褐斑病	2,000～4,000		収穫前日まで	5回以内	5回以内	
	灰色かび病 うどんこ病						
うり類(漬物用)	炭疽病 つる枯病						
なす	すすかび病 灰色かび病 うどんこ病	3,000		収穫前日まで	3回以内	3回以内	
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	1,000	100～500	収穫7日前まで	5回以内	5回以内	
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病			収穫前日まで			
ねぎ	さび病 黒斑病	2,000	100～300	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	
にんにく	葉枯病	1,000～1,500		収穫3日前まで			
にんじん	菌核病	1,000		収穫14日前まで	5回以内	5回以内 種子粉衣は1回以内、無人航空機 散布は2回以内	
	黒葉枯病	500～1,000					
		-	乾燥種子重量の0.5%	は種前	1回	種子粉衣	
トマト	葉かび病 灰色かび病	3,000～6,000	100～300	収穫前日まで	3回以内	3回以内	散布
ミニトマト		6,000			2回以内	2回以内	

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数	使用方法
レタス	灰色かび病 菌核病	1,000～2,000	100～300	収穫30日前まで	3回以内	3回以内	散布
いちご	炭疽病	1,000		育苗期(定植前)	5回以内	10回以内 〔育苗期は5回以内 本圃では5回以内〕	
	うどんこ病	4,000		収穫前日まで(生育期)	5回以内		
豆類(種実) (ただし、だいずを除く)	炭疽病 褐斑病	1,000		収穫7日前まで	3回以内	3回以内	
だいず	紫斑病	—	乾燥種子重量の0.5%	は種前	1回	4回以内 〔種子粉衣は1回以内〕	種子粉衣
ばれいしょ	夏疫病	500	100～300	収穫7日前まで	5回以内	5回以内	散布
やまのいも	葉渋病	1,000～2,000				種いもへの処理は1回以内 無人航空機散布は3回以内	
		青かび病	—	種いも重量の1%	植付前	1回	種いも粉衣
てんさい	斑点病 褐斑病	1,000	100～300	収穫14日前まで	4回以内	4回以内	散布
小麦	赤かび病	1,000～2,000	60～180	収穫21日前まで	3回以内 〔出穂期以降は1回以内〕	4回以内 〔種子への処理は1回以内、散布および無人航空機散布は合計3回以内、出穂期以降は1回以内〕	
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)	1,000	200～400	摘採14日前まで	2回以内	2回以内	
たばこ	赤星病 うどんこ病 灰色かび病	1,000～2,000	100～180	収穫10日前まで			
樹木類	炭疽病	1,000	200～700	発病初期	3回以内	3回以内	

### △ 効果・薬害などの注意

1. 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
2. りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
3. なしに使用する場合、西洋なし品種ルレクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
4. ももに使用する場合、缶桃14号などの缶詰用品種では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
5. おうとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないでください。
6. かきに使用する場合、西村早生では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
7. メロンに使用する場合、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。

8. キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると、薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
9. ばらに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。
10. 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
11. 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
12. 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
13. 使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
14. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△ 安全使用上の注意   

15. 誤飲、誤食などのないよう注意してください。
16. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
17. 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
18. 薬液調製時および使用の際は保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
19. 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
20. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
21. 街路、公園などで使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

**水産動植物への影響：**水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

**保管：**密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。

- 
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤などで消火に努めてください。
  - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収してください。
  - 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
  - 使用量に合わせ調製し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。